



Fig. 11 宮城県鬼首地域における(a)P波, (b)S波, (c) $V_p/V_s$ 構造の東西鉛直断面 [Nakajima and Hasegawa, 2003]. 測線の位置は挿入図に示してある. 赤三角は活火山, 赤丸は低周波微小地震, 赤線はS波反射面(ブライトスポット), 黒丸は微小地震, 赤星は1962年宮城県北部地震( $M 6.5$ )の震央をあらわす. (d)比抵抗構造の鉛直断面図 [Mitsuhashi et al., 2001]. 図に示してある範囲は(a)から(c)の四角で囲まれた領域に対応する. 挿入図にはMT探査の観測点(青四角), 仮定した二次元測線(黒破線)も示してある. (e)挿入図に示す東西測線における1997年から2001年の東西歪速度(青線) [佐藤・他, 2002] と地震活動(ヒストグラム). (f) 鳴子火山を横切る東西鉛直断面の模式図 [Nakajima and Hasegawa, 2003].